

第227回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成29年4月10日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人  
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)  
君島 理恵 (副委員長)  
青木 敬信  
早川 富美子  
小笠原 伸  
篠田 裕次

(2) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)  
床井 和夫 (業務推進本部副本部長)  
佐藤 望 (放送部長)  
古寺 雄史 (総務部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

3月8日水曜日に放送した生ワイド番組「B・E・A・T」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者

昨年4月より、平日の午後3時から4時間の生ワイド番組として編成している「B・E・A・T」。曜日替わりのパーソナリティ2人が各々の個性とトークのリズムで栃木の夕方を賑やかに演出している情報ワイドです。

水曜日の担当は、俳優としても活躍する岡田真善とフリーアナの高賀茂沙緒里で、この4月にコンビ2年目に入りました。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員：

BEAT という名前が示すよう番組全体からビート感が感じ取れ、  
また、アクティブでスピード感もある番組だ。

4時間という長時間の放送ではあるが、リスナーが聞きやすいと感じ取れるように、  
その進行には随所に工夫が見られ、色々とひねりも利いていた。

また、BGMの選曲や、トークとの音量のバランスがとても良い。

委員：

パーソナリティの2人は、ともに自然体で話していて、親しみを感じる。

2人のコンビネーションも良く、トークのやりとりが楽しく感じられた。

委員：

高賀茂さんは、岡田さんのリードによって良い面が引き出されており、  
以前の審議会で試聴した別の番組の時よりも喋りの印象が良くなった。

しかし、原稿が用意されているコーナーでは棒読み気味になったり、  
一方で、フリートークになると、やや早口になるなど、  
コーナーによって喋り方のギャップが大きいことも気になる。

また、全体的に、弱い音の発声にまだまだ難がある。

事業者：

岡田は“ラジオ愛”が特に深いパーソナリティではあるが、

トークの相方への執拗ではないかという声も一部あるが、委員の方々にはどう感じたか？

委員：

岡田さんが高賀茂さんに話を振ることで、彼女の個性を引き出すことに成功している側面はある。

ただ、高賀茂さんは遠慮がちで、岡田さんからの話の振りを的確に返し切れていない。

おそらく、それも、岡田さんの喋りが執拗に聞こえてしまう一因である気もする。

委員：

岡田さんは多方面への好奇心が旺盛、かつ蘊蓄も深く、

また、リスナーへのサービス精神にも溢れている。

番組を試聴していて、特に嫌な気分になることは無く、ソフトな声で聞き心地も良いと感じた。

委員：

岡田さんは、トークの中で具体的な商品名を数多く挙げて話していたが、

僅かな時間の中でも多発すぎているくらいがある。

商品名ばかりでは企業の広告宣伝と感じられ、番組全体の質を落としかねない。

委員：

高賀茂さんが進行を担当する地元プロバスケットボールチームの応援コーナー

「GO!GO!ブレックス」のコーナーは、試合とは関係のない選手個人のプライベートな内容を  
延々と語らせるのではなく、せっかく、高賀茂さんが応援団員として試合を観戦してきたのだから、  
そういったことから、もっと話を膨らませるべきだった。

委員：

今回、スタジオゲストとして迎えた栃木ブルックスの橋本選手は、若いながらも公に向けて話すことに意外と慣れている印象を持った。こうした若い選手たちにとっては、メディアに登場する機会を多く持つことも社会的な面での育成の一端となるようにも考えられる。

委員：

試聴した地元プロバスケットボールチームの応援コーナーをはじめ、以前から県内の様々な競技のプロスポーツチームの情報を伝え、その魅力を発信続けている局の姿勢は大変評価が出来る。地域に根ざした放送局として、今後も積極的にチームの情報を紹介し、栃木のプロスポーツ全体を盛り上げ続けてほしい。

委員：

「お父さん・お母さんに聞かせたい音楽」のコーナーでは、若者に人気のアーティストの楽曲を、そのプロフィールから詳しく説明することで、普段ではなかなか受け入れにくかった世代にも興味をもたせ、聞いてみたいという気持ちにさせることが出来ていた。

最近では、音楽をトークとトークの繋ぎのような感覚で少しだけかけてフェードアウトするなど、曲を使い捨てているようにも感じる場所があったが、今回のように丁寧にアーティストのプロフィールから詳しく説明して、曲をじっくりと聞かせようとする企画は大いに評価したい。

委員：

浮気というメッセージテーマにはドキッとした。下品にならない程度に多少は艶っぽい話も良いのだが、「浮気性」、「浮気心」という表現にとどめておいた方が無難であったと感じる。

委員：

学生など今の若者世代は、メールよりSNSに馴染みがある。  
今後、番組内でSNS経由でのメッセージ投稿をもっと告知すべきだ。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について  
次回の開催を5月8日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日  
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日  
(1) 放送 4月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内  
(2) 書面 本社事務所に備え置き  
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項  
なし